



# 黒小だより

二海郡八雲町黒岩212番地 TEL 0137-68-2013 FAX 0137-68-2018

E-mail kuroiwa-es@town.yakumo.hokkaido.jp

Web Page <http://www2.town.yakumo.hokkaido.jp/~kuroiwa-es/index.html>

学校教育目標

強い子ども

考える子ども

働く子ども

明るい子ども

## 一筆入魂

八雲町立黒岩小学校長

長内克磨

平成25年、西暦2013年。新しい年を迎えた1月18日（金）、8名の子ども達は、全員元気に学校に集まってくれました。大きな病気や怪我をすることもなく、全員が元気だったことを嬉しく思います。冬休み中、雪に埋もれるようにひっそりとしていた校舎に、子ども達の声が響くというのは、それだけで活気が出てくるようにも感じます。卒業式までの登校日が、あと40日という日でした。

昨年末から、例年にない厳しい寒さが続くこの冬ですが、珍しく暖かな「大寒」が過ぎ、間もなく「節分」「立春」を迎えようとしている今日この頃。時折射し込む日の光にも、どこか柔らかさが出てきたような気がしています。

去る、1月21日（月）。本校の体育館で「校内書き初め大会」が行われました。

体育館一面に広がる墨の香り。これを「良いにおいだなあ」と、感じるのは日本人だからなのでしょう。本校の子ども達は、1月10日（木）の八雲町席書大会で、最高賞の「町長賞」をはじめ、4名の子ども達が見事入選を果たしました。本校の半数が入選したのです。昨年の、町内の各種書道展でも常に上位を占めていました。いわば、「書道の猛者（もさ）」達が集った書き初め大会でもあったわけです。

教師が特に指示をしたわけでもないのに、正座をして真剣に注意を聞く姿。手本をじっくりと見ながら、筆にたっぷり墨を乗せ、毛先を整えて、真っ白な紙に筆を入れます。一人ひとりの瞳がキラキラと輝いているようにも見えました。まさに、一筆入魂とはこの事ではないかとさえ思いました。

また、本校の児童が出演し、年末年始にかけて放送された E-テレの「短歌 de 胸キュン」をご覧になった方も多いと思います。撮影当日ご協力いただいた、PTA 会長様はじめ黒岩町内会の皆様には、この場を借りて心よりお礼申し上げます。初冬の寒い中にもかかわらず、誠にありがとうございました。短い時間ではありましたが、子ども達の思い出に残るだけでなく、心の中には七・五調の日本語の持つ心地よい言葉のリズムがしっかり刻まれたことだと思います。せっかくの良いチャンスでもあるので、これからも時々短歌などを詠んで、発表したり、掲示したりする機会も作りたいと考えています。

書道も短歌も日本の誇る伝統文化です。黒岩小学校の子ども達は、実に素晴らしい恵まれた環境の中でたくましく成長をしていると思います。

最後になりますが、PTA の皆様をはじめ黒岩の皆様方には今年も1年、学校の教育活動に対するご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。



